

# おけのこ

ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会公式マスコット「レンジャー」

## 2019年 第3回 定例県議会

### ラグビーW杯大分開催の成功で おおいた創生を加速前進

#### 2019年度 一般会計9月補正予算概要

補正予算額:	3,625,670千円
既決予算額:	646,342,000千円
累計:	649,967,670千円
(前年度9月補正後予算比 +4.1%)	

#### 【歳入の内訳】(補正分)

国庫支出金:	338,766千円
県債:	314,000千円
繰越金:	2,972,904千円

#### <補正事業の内容>

##### 1. 河川災害関連事業

災害の再発を防止するため、平成29年7月九州北部豪雨の被災箇所(日田市:小野川、有田川)における流木捕捉工や護岸工の工法等を変更する。

【補正額】687,695千円(累計:1,250,137千円)

##### 2. 決算剰余金の基金への積立

健全な財政運営を確保するため、30年度決算剰余に伴う繰越金(2,973,004千円)の一部を財政調整用基金などに積み立てる。

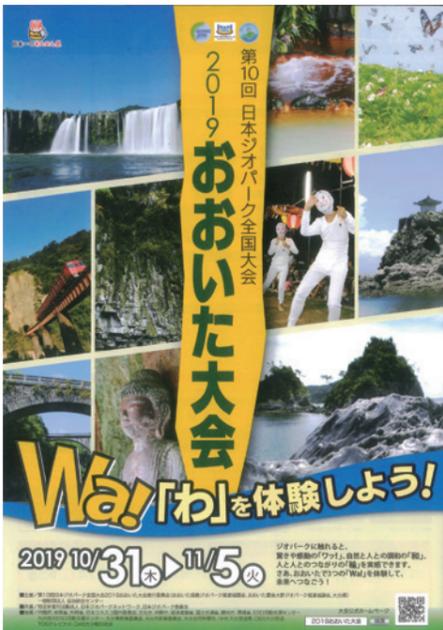
・財政調整基金	1,000,000千円
・減債基金	1,000,000千円
・県有施設整備等基金	857,975千円
・芸術文化基金	80,000千円

## 第10回日本ジオパーク 全国大会が大分で開催

大分県では、豊後大野と姫島が日本ジオパークに認定されており、10回目の節目を迎える全国大会が両地域を中心会場として開催されます。

10月31日(木)から11月5日(火)にかけて、ジオツアーやパネルディスカッション等が催されます。(詳しくは、ホームページ「oita-geo2019」を検索してください。)

ジオパークの魅力や活動に対する理解が広まり、未来へつなげる大会となるよう期待します。ぜひ、この機会に貴重な大分のジオパークを訪れ、地球の鼓動を体感してください。



#### \*ジオパーク

火山の噴火やプレートの移動など、地球活動によってつくられた貴重な地形や地質等について、調査研究を行いながら、教育・学習活動やツーリズムなどに活用している地域をさす。

十月からの消費増税のほか、米中貿易摩擦の長期化や日韓関係の悪化等の下振れリスクに対し、景気動向には十分に注意しなければなりません。消費増税に対しては、国が対策を進めているキャッシュレス・消費者還元事業

景気動向を注視し、目配りと対策をしっかりと

今回審議された今年度の一般会計補正予算は、二〇一七年の九州北部豪雨災害により被災した、日田市の小野川などの復旧経費のほか、前年度決算剰余金の基金積立など、約三十六億円を増額するものとなりました。

二〇一九年第三回定例県議会は、九月十七日から十七日間の会期日程で行われました。十月三日には、令和元年度一般会計補正予算案をはじめとする上程議案に対する採決が行われ、すべての会議日程を終え閉会しました。

令和元年度においても、県債残高の適正管理と財政調整用基金の目標額を確保し、引き続き大分県版地方創生を下支えする財政基盤の健全性を保つ県政運営に努めなければなりません。

今議会でも、二〇一八年度決算が報告されました。内容を見ると、自然災害からの復旧・復興に加え、国民文化祭・全国障害者芸術文化祭の開催、県立武道スポーツセンターの建設等で、歳入・歳出ともに伸びを示すなか、実質収支は赤字が確保されています。

大分県版地方創生を支える財政の健全性を維持

を大分県も商工団体等と連携し、中小・小規模事業者のキャッシュレス決済の導入を促進しています。なお、消費の落ち込み対策として導入されたポイント還元が効果を表すのか、また制度の枠組みに問題がないのか、検証する必要があります。

アジア初となる、ラグビーワールドカップ2019日本大会がついに開幕しました。



大分会場公式ファンゾーンでの開幕式典

大分県への大会招致に向けては、2014年に12万人を超える県民署名が集まり、県議会でも大分開催の決議を全会一致で可決し、実現に至りました。



県議会本会議場では、ラグビーW杯記念コンサートを開催

今回の大会の開催を通じ、将来に二つのレガシーが期待されます。

一つ目は、ラグビーの魅力と感動を世界中の人々と分かち合うことです。

ラグビーは「品位・情熱・結束・規律・尊重」の精神を大切に守り、受け継いできました。

ワールドワイドな価値観や感動を共有し、スポーツの振興を図るとともに、各分野でグローバルに活躍できる人材の育成につなげることができます。



「祝祭の広場」のパブリックビューイング(日本 vs アイルランド戦で日本勝利の歓喜に湧く)

## 一生に一度が大分に ラグビーW杯2019

二つ目は、観光振興であり、特にインバウンド(訪日外国人観光客)の多角化を図ることです。

本県のインバウンドの割合は、アジア地域からが大半を占めていますが、これから欧米や大洋州(オセアニア)からの誘客を広げる必要があります。



海外から多数の観戦客が訪れました

この2年間、県議会に設置されたラグビーワールドカップ大分開催協議会の委員として様々な調査を行い、一般質問などを通じて政策提言もしてきただけに、感慨深いものがあります。



国際色ゆたかな会場内は大いに盛り上がりました(白熱のフィジー vs ウェールズ戦)

大分では予選・準々決勝の計5試合が行われました。国内外から多くの来訪者を大分の「おもてなし」でお迎えし、県内各地の様々な観光資源に触れていただく機会を得ました。

大分のブランド力を高め、魅力ある大分県づくりをこれから更に前へ進めることが大切です。

# 農林水産委員会 県外所管事務調査

県議会では、第3回定例会の前段に各常任委員会が県外における事務・事業の調査を行います。私の所属する農林水産委員会は、青森県と秋田県を訪問し、現地視察、質疑・意見交換を行いました。



## ▶ 青森県観光国際戦略局国際経済課 (青森県青森市)

青森りんごの歴史は古く、1875 (明治8) 年から栽培がスタートし、1899 (明治32) 年には早くも海外への輸出が始まり、現在では9つの国・地域へ輸出されています。大分県の果物の輸出货量とは格段の違いで、さすがは「りんご生産量日本一」の青森県です。(道中の道沿いはリンゴ畑だらけでした) 青森県のブランディングやプロモーション展開、海外へ輸出する意味合いなど、色んな背景と工夫がある事をご教示いただきました。

## ▶ 男鹿・潟上地区園芸メガ団地 (秋田県男鹿市)

「米どころ」で知られる秋田県ですが、現在は複合型生産構造の農業への転換を加速化させ、「米依存」からの脱却を図っています。

具体的な取組としては、大規模な畑地化エリアを県内各地に整備し、「キク」や「えだまめ」などを栽培してエリア内1億円の産出額をめざしているそうです。

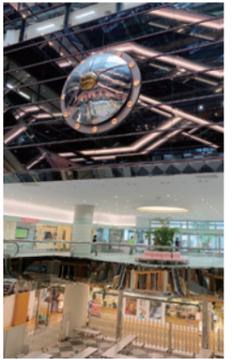
調査先の経営者(キク栽培)は若手がとても多く、平均年齢は34歳ということでした。(収益性も良く、新規就農者も続々と増えています)



## ▶ 秋田県貿易促進協会 / あきた県産品プラザ (秋田県秋田市)

当協会は県内企業の貿易拡大のため、海外における取引機会の創出等に取り組んでいます。近年は、海外での和食ブームにより、県産日本酒の輸出が拡大しています。(輸出先はアメリカが全体の4割) 他の品目では、特産の「秋田杉」や名物「稲庭うどん」も好評のようです。(海外への売り込みの「コツ」も教えてくださいました)

秋田市に設置された「あきた県産品プラザ」では、県産品の展示・販売、販路拡大が取り組まれています。(平成初期の建物で、かなり“バブリー”な作り)



## 令和元年度 農林水産委員会 県外調査行程

- 9/2 大分空港 → 大阪空港 → 【青森県青森市】 青森県観光国際戦略局国際経済課
- 9/3 【秋田県男鹿市】 男鹿・潟上地区園芸メガ団地 → 【秋田県秋田市】 秋田県貿易促進協会 → あきた県産品プラザ
- 9/4 【秋田県秋田市】 秋田空港 (県産材「秋田杉を活用した内装木質化」) → 羽田空港 → 大分空港



防災士  
木田昇の  
防災メモ

### —いつ起きる南海トラフ巨大地震③—

駿河湾から足摺岬の沖合に広がる南海トラフでは、過去に約100～150年の周期でM8.0～8.7規模の地震が繰り返し発生しています。

一口に「南海トラフ地震」と言っても、実際は震源域でその名前は異なり、東から西にかけて順に、「東海地震」、「東南海地震」、「南海地震」の3つで、発生パターン(単独 or 連動型)も毎回異なります。

江戸時代の中期、宝永4年(1707年)10月4日に発生した「宝永地震」は、その3つが同時に発生する「3連動」型で、日本最大級の地震と言われています。

佐伯市に残された記録では、「10月4日の午後2時ごろ、南の方で大きな音がして、すぐに大きな地震が起きました。その後、津波が米水津の浦代浦に(約11.5mの高さまで)押し寄せ、一面湖のようになりました…」と伝えられています。

## 最近の動き

### 7月

- ▶ 大分政経懇話会7月例会
  - ▶ 第25回参議院議員選挙公示
  - ▶ 第2回定例県議会開会
  - ▶ 第7回県議会政策勉強会
  - ▶ 令和元年度竹田高等学校同窓会総会(竹田市)
  - ▶ 南太平洋寺杵築社夏季大祭
  - ▶ 第25回参議院議員選挙投票開票
- 令和改元後、初の国政選挙。全国的に投票率が低迷し、大分でも50.54%と過去最低を記録。(全国では48.8%)
- ▶ 県議会予算特別委員会
  - ▶ 県議会都市政策研究会
  - ▶ 2019連合平和行動in大分
  - ▶ 内外情勢調査会大分支部懇談会
  - ▶ 第1回県議会政策検討協議会
  - ▶ 第2回定例県議会閉会
  - ▶ NPO法人大分県地酒・焼酎文化創造会議第3回総会



- ▶ 竹田高等学校大分・別府同窓会評議会
  - ▶ 地域公共交通政策調査・ICTセミナー(神戸市・大阪市)
  - ▶ 連合大分2020年度当初予算編成に関わる県知事要請
  - ▶ 第56回九州各県議会議員親善野球大会
  - ▶ 地方議員研究会セミナー(東京都・早稲田大学)
  - ▶ 第2回県議会政策検討協議会
  - ▶ 海洋調査船「豊洋」竣工式
- 魚群やプランクトンなどの漁業資源の調査、赤潮の分布把握などを任務として活動。航海士・機関士として女性クルー2名が乗船。



### 8月

- ▶ 野生鳥獣による農林水産物被害軽減に向けた研修会
  - ▶ 全市一斉ごみ拾い
  - ▶ OITAサイクルフェス2019
- 昨年からUCI(世界自転車競技連合)公認の国際レースに格上げされ、レース展開も一段とレベルアップ。迫力満点の国際レースが目前に観戦できます。



### 9月

- ▶ 農林水産委員会県外所管事務調査(青森県、秋田県)
  - ▶ 大分県戦没者追悼式(別府市・ビーコンプラザ)
  - ▶ 大分大学大学院イノベティブ経済セミナー
  - ▶ 大分政経懇話会9月例会(臼杵市)
  - ▶ 第3回定例県議会開会
  - ▶ 第8回県議会政策勉強会
  - ▶ ラグビーワールドカップ2019日本大会開幕
- 大分会場の公式ファンゾーンがホルトホール大分前の芝生広場にオープン。「足湯」も開設。
- ▶ おんせん県議会若者DAY
  - ▶ 祝祭の広場オープニング
  - ▶ 第3回県議会政策検討協議会
  - ▶ 宗麟とキリスト教-地中に眠るキリシタンの時代-



## 公式LINEはコチラ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！  
\*お友達登録のQRコードリーダーをご使用ください

県民クラブHPはコチラ  
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/

▼右のポスター(コンビニは3%還元)が貼つてあるところが対象店です。難しいのが、元々の商品の値段を考えると、還元率にこだわらなければ、一部交通系ICカードは還元率に事前登録が必要なものも。▼消費税は「年金・医療・介護・少子化対策」に使われ、国の借金返済にも充てる貴重な財源です。▼「キャッシュレス」は、誰もが恩恵を受ける枠組ではなく、事業の成果を十分に検証する必要があります。



**竹の子記**  
平成元年四月に三%からスタートした消費税率は、ついに10%となりました。前回の引上げから、じつに五年半ぶりのこととす▼引き上げと同時に、十月からは「幼児教育・保育無償化」が、来年の四月からは「高等教育の一部無償化(大学等の授業料、入学料への支援・所得制限あり)も導入されます▼もう一つ始まったものとして、「キャッシュレス・消費者還元事業」もあり、消費税率「軽減税率」の区分けも複雑ですが、さらにもつらいつらいつが「キャッシュレス還元」です。